

### Ⅲ 自由記述のまとめ

授業評価調査票の裏面は、自由記述欄とフェースシートで構成されている。自由記述部分については、これまでの類似調査の場合も、制作を担当した教職員に複写したものをそのまま提供することが主で、技術的な問題もあり、ほとんど総括的なまとめを行ってこなかった。しかし、今回われわれは、その回答率の高さと内容の重要性に鑑みて、何らかの形でまとめを行い、全体的な内容を概括的に把握することが当該科目担当者に限らず必要不可欠のことと考えて、敢えて自由記述部分の総括を試みることにした。表1に示すように、自由記述部分への回答率は非常に高い。とりわけ「よかった点」とうに関しては、ほぼ3人に2人が回答を寄せていることがわかる。

表1 全回答者に対する自由記述欄回答数と回答率（％）

	全回答者数		よかった点		改善点等		評価調査への意見	
	8,973		66.1		53.7		35.5	
	自由記述の属性別回答者数・回答率							
	よかった点		改善点等		評価調査への意見			
	回答者数	構成比(%)	回答者数	構成比(%)	回答者数	構成比(%)	回答者数	構成比(%)
総数	5,935	100.0	4,821	100.0	3,187	100.0		
学生種別								
生活と福祉	716	12.1	538	11.2	402	12.6		
発達と教育	755	12.7	587	12.2	432	13.6		
社会と経済	567	9.6	453	9.4	306	9.6		
産業と技術	574	9.7	496	10.3	306	9.6		
人間の探究	1,240	20.9	978	20.3	671	21.1		
自然の理解	625	10.5	576	11.9	336	10.5		
選科	993	16.7	803	16.7	514	16.1		
科目	428	7.2	359	7.4	195	6.1		
N A	37	0.6	31	0.6	25	0.8		
性別								
男性	3,057	51.5	2,618	54.3	1,684	52.8		
女性	2,723	45.9	2,079	43.1	1,417	44.5		
N A	155	2.6	124	2.6	86	2.7		
年齢別								
19歳以下	35	0.6	34	0.7	14	0.4		
20歳代	691	11.6	594	12.3	329	10.3		
30歳代	1,101	18.6	915	19.0	551	17.3		
40歳代	925	15.6	796	16.5	519	16.3		
50歳代	1,244	21.0	955	19.8	663	20.8		
60歳代	1,357	22.9	1,068	22.2	724	22.7		
70歳以上	549	9.3	434	9.0	364	11.4		
N A	33	0.6	25	0.5	23	0.7		
職業別								
公務員等	455	7.7	380	7.9	238	7.5		
教員	149	2.5	121	2.5	70	2.2		
会社員	1,078	18.2	936	19.4	559	17.5		
個人・自営	392	6.6	352	7.3	237	7.4		
農業等	48	0.8	33	0.7	38	1.2		
看護師等	378	6.4	264	5.5	207	6.5		
家事専業	640	10.8	497	10.3	341	10.7		
パート等	631	10.6	517	10.7	337	10.6		
他大学学生	91	1.5	78	1.6	35	1.1		
無職	1,602	27.0	1,278	26.5	856	26.9		
その他	433	7.3	331	6.9	243	7.6		
N A	38	0.6	34	0.7	26	0.8		

しかし、これだけの数の自由回答をまとめるというのは、実際至難の業である。一部分だけをサンプルとして抽出し、それを示して全体を推測してもらおう、という手段もとれないことはないが、代表性や信頼性に関して不安は少なくない。そこで、さまざまな言葉遣いで多様に回答している自由記述から、以下のような形で語句を置換して整理した上で重要語句を抽出し、その比率を求め、比率の高いものから検索してそこから代表性のある記述を抜き出す、という手順で総括することを考えた。

表 2 自由記述部分(改善点等)の重要語句の置換 (一部例示)

重要語句の置換例

置換前	特にない 特にありません 改善すべき点はない 改善すべき点を感じません 改善すべき点はありません これでよい 特になし	講義内容 内容 講義 話題 テーマ	よい 良い よかった すばらしい	単位認定試験 試験 テスト 再試 記述式 択一式 マークシート 併用式	通信指導 添削 通信	印刷教材 本 教科書 テキスト	放送授業 授業 放送教材 放送	図表 模型 表 写真 数式 グラフ データ 資料 年表 図版 絵 地図 パターン 関連図 参考文献	説明 解説
置換後	特になし	講義	よい	試験	通信指導	印刷教材	放送授業	資料	説明

重要語句の置換例

置換前	わかりづらい 理解しきれない 複雑 難解 難しい わかりにくい 理解できない 難しすぎ 理解出来ない むずかしい 意味不明 理解不足	講師 先生 教授 主任教授 主任講師 教師	棒読み 朗読 棒読 原稿読み 読んでいるだけ 読むだけ 読み上げているだけ 丸読み	専門用語 用語 重要語句	ラジオ R 音声	具体的 実例 演奏例 例題 解答例 くわしく 詳しく	テレビ 映像 TV	しゃべり 早口 発音	理解しやすい わかりやすい 納得 易しすぎる やさしい 簡単 平明
置換後	難しい	講師	棒読み	専門用語	ラジオ	具体的	テレビ	しゃべり	やさしい

その結果、自由記述中の「改善点」等に関しては、次表のような重要語句の出現頻度が得られたのである。これらの語句を組み合わせ、たとえば、「印刷教材」と「難しい」という語句の含まれる記述を検索する、「講義」と「印刷教材」と「棒読み」という語句の含まれる記述を検索する、といった手順により、数千の記述の中から一定の傾向を持った一団の回答を抽出することができたのである。もちろん、日本語の特性として、例えば「講義はよくある印刷教材の棒読みではなかった」といった記述がヒットすることも少なくない。そのような場合、最終的には実際に文字を読んで判断せざるを得ないことは事実である。しかし、ほんの一部の標本を読んで推測する場合に比して、格段に妥当性と効率が上昇したことは間違いのないところであろう。

表 3 重要語句の出現頻度分布(改善点に関する回答のみ例示)

順位	単語	出現頻度	%
1	印刷教材	1,472	30.5
2	講義	1,337	27.7
3	資料	825	17.1
4	放送授業	761	15.8
5	説明	679	14.1
6	テレビ	666	13.8
7	よい	614	12.7
8	試験	610	12.7
9	難しい	471	9.8
10	講師	451	9.4
11	やさしい	394	8.2
12	ラジオ	299	6.2
13	具体的	292	6.1
14	通信指導	272	5.6
15	棒読み	121	2.5
16	特になし	94	1.9
17	専門用語	81	1.7
18	しゃべり	60	1.2

そのようにして、頻度の高い記述から順に選択した種々の意見を、科目所属専攻等の別に分け、①受講科目のよかった点、②受講科目の気になった点、そして、③改善に向けての提案や要求、という3グループごとに分けてチャート化したものが、次頁以降の図である。図には簡単な回答内容の要約を示したが、それに続く記述の頁にはそれぞれの具体的な回答の例を掲げてある。

# 外国語科目

## よかった点

### 放送授業

- ・ インタビュー
- ・ 講師の説明の発音の正確さ、熱心さ
- ・ ネットでの親しみやすさ、掛け合い
- ・ 講師の質問が多い
- ・ ゲストの仕度、会話例
- ・ 進行の仕方、日常会話例
- ・ 実例の引用
- ・ 原文の添削

### 印刷教材

- ・ 付属CD
- ・ エッセイの大きな文章
- ・ 文法訳読のまとめで
- ・ 構成の索引
- ・ 文法索引の解説
- ・ 単語の順
- ・ 単語裏

### 単位認定試験

- ・ やさしい問題

### 科目全般

- ・ テーマの選択
- ・ 外国の歴史、文化、思想の理解
- ・ 文化の比較的理解
- ・ 日本文化の理解
- ・ 新たな視点の広がりが立つ
- ・ 視野の広がりが立つ
- ・ 実践に役立つ
- ・ 基礎の習得が明確
- ・ 語彙のやりや
- ・ わかりやすい

## 気になった点

### 放送授業

- ・ 進行が速すぎる
- ・ インタビューの全文全訳がない
- ・ 早口すぎる
- ・ タレントの英語が聞き取れない
- ・ 音楽の歌詞が聞き取れない
- ・ 発音の発音が聞き取れない
- ・ インタビューの発音が聞き取れない
- ・ 何人かのアナウンサーの発音が聞き取れない
- ・ 洋服の発音が聞き取れない

### 印刷教材

- ・ 分量が多い
- ・ エッセイの解説がない
- ・ 写真や図表が少ない
- ・ 行間が狭い
- ・ 練習問題の答えがない
- ・ 例文法が多すぎる
- ・ 短文が小
- ・ 字

### 通信指導

- ・ 後半の章からは出題されない

### 単位認定試験

- ・ 印刷教材からの出題が多い
- ・ 問題と解答が公表されない

### 科目全般

- ・ ラジオ科目では分かりにくい
- ・ CDが付属していない
- ・ 難しい
- ・ 発音より文法が主体である
- ・ 副読本がない
- ・ 入門は基本に絞るべき
- ・ 簡単すぎる
- ・ 発音が正確か確認できない
- ・ 改訂すべき
- ・ 受講申し込み前にレベルが分からない

## 改善点の提案

- 印刷教材に訳をのせ、放送でも字幕で訳や歌詞を出す。
- CDを付ける。
- 初歩と上級の間の中間的な教材を用意する。
- 欧米系以外のゲストも考慮する。
- 語学こそテレビ科目を多くする。
- 受講前にレベルがわかるような工夫をする。

## よかった点（外国語）

● インタビューが興味深く、おもしろかった（難しかったけれど…）。日本文化と外国の文化を比較しつつ、ステレオタイプにならないように物事をみていかないといけなと感じました。

（『英語Ⅳ（'03）』・TV・女性・40代）

● 今まで英語を学ぶ上で、いわば盲点になりがちだった日本の文化についての表現を、たくさん学習できて大変有意義でした。そして、より洗練された英語を身に付けるという観点からも、最適な科目だったと思います。

（『英語Ⅳ（'03）』・TV・女性・30代）

● 英語の理解度が増しました。さらに、CDが1枚セットされていることから、通勤の車内で学習できたことが大変良かった。

（『英語基礎A（'05）』・R・男性・50代）

● 「テーマ学習」と「今日の話題」が良かった。中学・高校・大学と、英語を学習してきたので、文法とかにあまり問題を感じなかったが、ちょっとした表現や、外国の習慣や外国人の考え方とか、「なるほど～」と思える部分があった。受講中に海外旅行に行って、習った表現を意識してですが、使えたので満足。

（『英語基礎A（'05）』・R・女性・20代）

● イギリスのイメージが深まり非常に面白かった。個々のテーマも興味深いものであった。英語の言語に対する印象も変わり、その後見かける単語がフランス語からきてるのかな、スペイン語のようだなどと考えるようになった。また、歴史的背景を学ぶことは、長い文を読む際に役立ちそうだと思っている。

（『英語総合A（'05）』・R・女性・30代）

● 文化や考え方の違いが話題の中に出てきて大変興味深く良かったと思う。

（『英語基礎A（'05）』・R・女性・20代）

● 最近の日本での英語教育では、American Englishが大部分を占めているが、この科目では、British Englishを聞くことが出来て良かった。英国の文化、歴史、経済、宗教など、色々な視点からの勉強がとても興味深かった。ひとつの文学作品や文章を読むのに、その背景を知っていると深く読めることに気づかせてもらったので、その点をもっと学んでみたいと思う。

（『英語総合A（'05）』・R・女性・40代）

● 文法の解説の方法が、ビジュアルでわかりやすかった。今までラジオで学習してきたが、それに比べ格段にわかりやすかった。

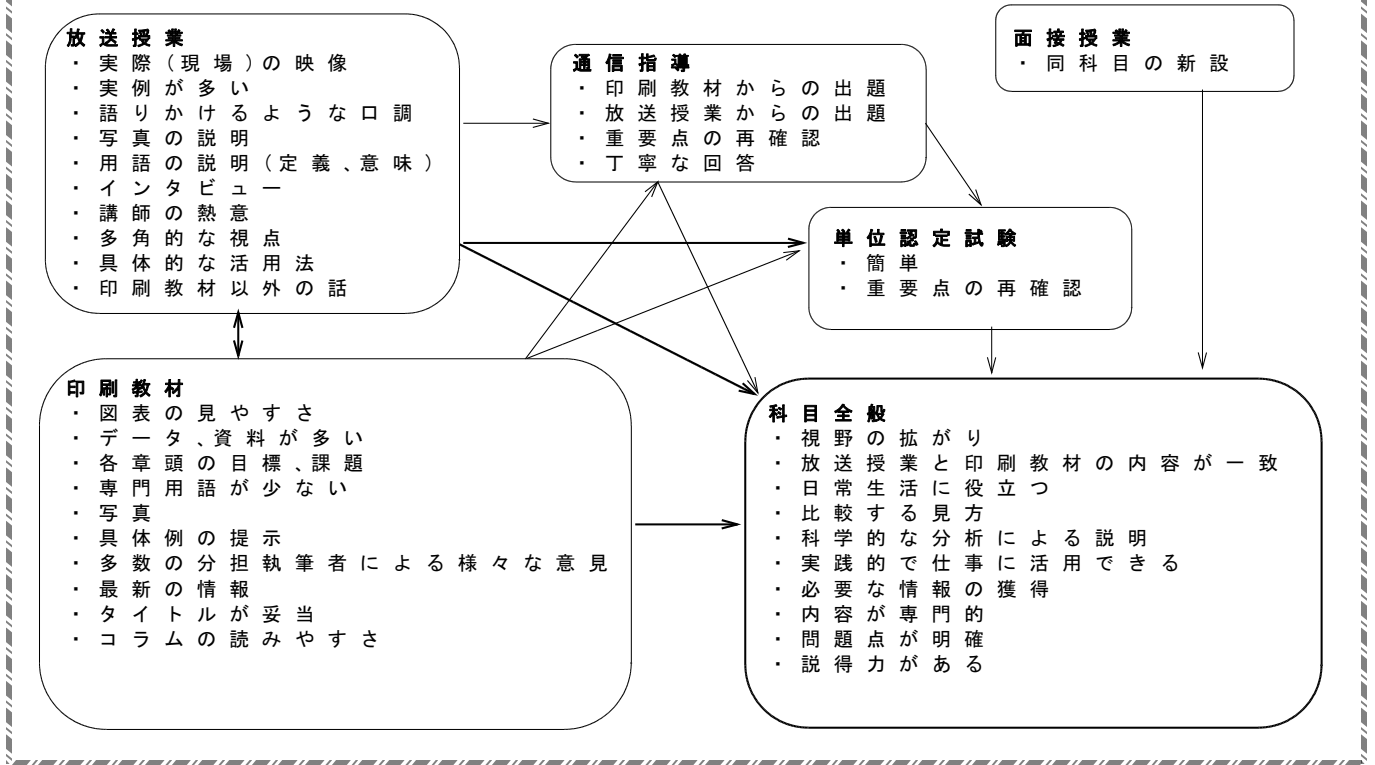
（『中国語入門Ⅰ（'05）』・TV・男性・40代）

## 気になった点（外国語）＜科目名は分野のみ示す＞

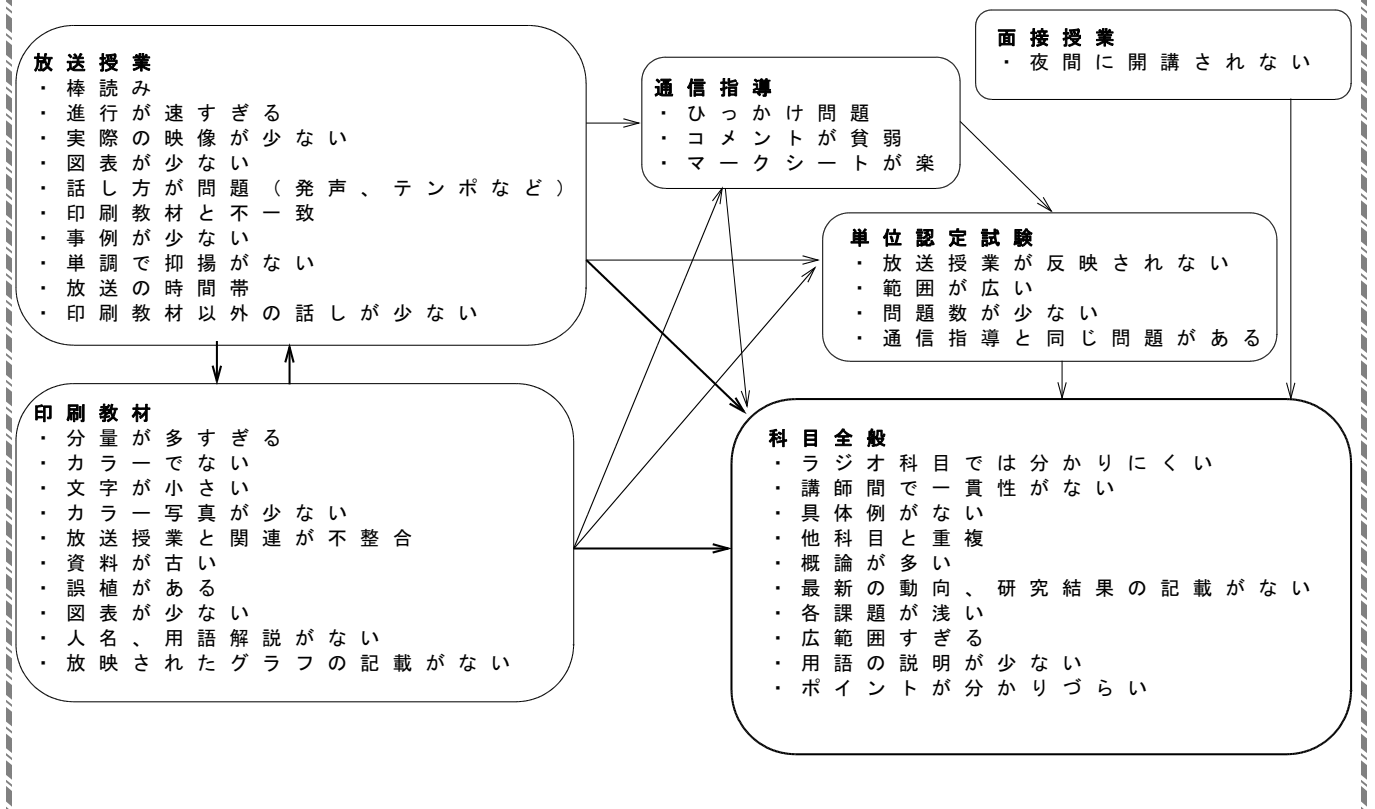
- エッセイやインタビューの訳を印刷教材にのせてほしかった。もしくは、放送授業の中で訳を言うだけでなく、訳を字幕でテレビに出してほしかった。  
(『英語』・TV・男性・20代)
- 音楽の歌詞を画面に出してほしいです。  
(『英語』・TV・女性・50代)
- 引用されている文、現地でのインタビューともに、ちょっと多すぎると思う。  
(『英語』・R・男性・70歳以上)
- 語学に関しては繰り返し学習が必要であると、放送でも先生がおっしゃっていた。それならCDなどで、スキットや会話を聴くことができる方が良い。CDを付けてほしい（基礎英語と同様に）。  
(『中国語』・TV・女性・40代)
- 語学一般に言えることだが、（特に放送大学は）文法主体の授業となる。発音主体の授業（機会）を多くしてほしい。  
(『中国語』・TV・男性・60代)
- 全体的にペースが速く、VTRを止めながらでないで、間に合わない位のボリュームだった。  
(『英語』・TV・女性・30代)
- 印刷教材の内容は分量が多すぎる。全体として、他の少し変わった内容の教材形式を併せてのせてはどんなものでしょうか？ 英会話形式のものとか（程度の少し高いもの）。英語ⅢとⅣとは、英語ⅠとⅡを学んだ程度の者として、急に飛躍しているように思う。中間的な教材にとぼしい。  
(『英語』・TV・男性・60代)
- 発声・発音についての丁寧な説明が不足していると感じた。  
(『中国語』・TV・女性・50代)
- 入門なので、基本にしぼってほしい。  
(『中国語』・TV・男性・40代)
- クロスカルチャーの話題なのに、インタビューした人々は、欧州の人々が主だったのも残念だった。アジア系、アフリカ系、様々な文化的背景の異なる人々の意見、ならびに発音も（何人かはネイティブでない人々もいたが）聞いてみたかった。  
(『英語』・TV・女性・50代)

# 生活と福祉専攻科目

## よかった点



## 気になった点



- 改善点の提案**
- 印刷教材の文字を大きくする。
  - 印刷教材の図や写真をカラー化する。
  - 話し手は抑揚、テンポ、声の出し方を工夫する。
  - 最新のデータを使用する。
  - 具体例を多く挙げる。
  - 放送授業と印刷教材の整合性をとる。

## よかった点（生活と福祉）

● 放送授業で映像が多く、各国の社会福祉の現場を視覚的に学べたことは良かったと思います。日本の社会福祉の現状や課題を捉えるためにも、外国の状況をさらに学んでみたいです。

（『社会福祉の国際比較（'02）』・TV・女性・20代）

● 非常に多くのデータを使用しているため、わかりやすかった。

（『身体福祉論（'03）』・TV・男性・20代）

● 新しい視点からの物の見方などができるようになり、良かったと思います。

（『服飾と心理（'05）』・TV・男性・30代）

● 専門的分野である医療を患者サイドから見ているが、視野を広げて医療に向かう点ではおもしろいと思う。

（『患者からみた医療（'03）』・R・女性・40代）

● 全体として、難しい専門用語が少なかったので理解しやすく、分量が多いと感じながらも続けることができた。生活についての科目なので、広く一般の人が学べるように、授業はわかりやすくあってほしいと思うので、難しい専門用語が並べたてられなくてよかったと思う。

（『生活の動態と経営（'05）』・R・女性・30代）

● 受講生に語りかける様な口調で、とても聞きやすかった。

（『患者からみた医療（'03）』・R・女性・50代）

● 実際に立っている建物の映像を見る事ができ、興味がわき、楽しんで授業を見る事ができました。また、楽しいだけでなく、住宅にとっての大切な事の知識が広がり、家を作る際の考えも変わりました。

（『住計画論（'02）』・TV・女性・40代）

● 印刷教材と通信指導の内容が合っていて、良い勉強になった。

（『社会福祉の国際比較（'02）』・TV・男性・30代）

● よかったと思う点は、図や表を使って説明しているところです。理解する上で、とても役に立ちました。

（『社会保険と市民生活（'04）』・R・女性・20代）



## 気になった点（生活と福祉）＜科目名は分野のみ示す＞

- この科目に限らず、印刷教材の文字をもう少し大きくしていただければ有り難いのですが。

（『社会福祉論』・TV・男性・70歳以上）

- できるだけ、新しい情報をタイムリーにほしかった。

（『看護学』・TV・女性・40代）

- 本文中の図や写真が、カラーであったら良かったのと思います。

（『服飾論』・TV・女性・50代）

- 教授陣の話し方が気になった。聞き手によく伝わる様、抑揚、テンポ、声の出し方を工夫してほしい。

（『服飾論』・TV・女性・50代）

- 最新のデータを使用してほしい。

（『医療論』・R・男性・50代）

- 他教科目との重複が多いと感じられます。特に同じ講師の場合には、この教科でも、あの教科でも、全く同じ事を話されているので、もう少し違ったアングルからの内容を用意すべきだし、勉強して新しいネタを仕入れてから、授業にのぞむべきだと思う。

（『生活経営論』・R・女性・60代）

- 全体的にテキストを読むだけなので、教科書だけで十分に思った。しかもラジオ放送なので、あまり満足出来なかった。

（『社会保険論』・R・女性・40代）

- 正誤表以外にも、誤植が目につく。

（『社会保険論』・R・男性・50代）

- もっと具体的な例をたくさんあげてほしい。

（『社会福祉論』・TV・男性・20代）

- ビデオの授業ということなので、できるだけ現況に近い年度のVTRの作成を希望します。VTRの内容と印刷教材の整合性がとれていない様に見受けられましたので、もっとVTRの内容と印刷教材とを関連させてほしいと思いました。

（『社会福祉論』・TV・男性・50代）